



機能の概要

無効な予算データの自動削除 (CP-22265)

一般提供予定: 2022 年 11 月

無効な予算データの自動削除

説明

この機能により、どの申請でも参照されていない無効な予算データを自動的に削除できます。

メリット

- 予算レコードは頻繁に更新されるため、無効なレコードのストレージサイズが急速に増大し、それ以上の更新ができなくなってしまう可能性があります。
- この機能により、無効な予算レコードが原因でこのような問題が発生するのを防ぎ、以下を実現できます。
 - パフォーマンスの改善
 - 管理費の削減
 - 予算のロードに関する問題の低減

ユーザー

- バイヤー
- 管理者

イネーブルメントモデル

- 必須 (オプトイン期間あり)

対象ソリューション:

- SAP Ariba Buying
- SAP Ariba Buying and Invoicing

機能の詳細

- 予算レコードが変更されると、予算レコードの新しいバージョンが作成され、前のバージョンは無効になります。
- 現在では、無効な予算レコードは、自動的には削除されません。2211 リリースより、参照されていない無効な予算バージョンは、スケジュールされたタスク [無効な予算レコードを削除する] の自動実行後に削除されるようになります。
- 以下の図は、予算がどのようにロードされ、無効化され、削除されるのかについて、概要を示しています。
- 取引ドキュメントには、予算の削除による影響はありません。

有効な予算

オーストラリア
サービス予算 v1

オーストラリア
サービス予算 v2

オーストラリア
サービス予算 v2

無効な予算

新しい予算バージョンのロード

オーストラリア
サービス予算 v1

スケジュールされた
タスク [無効な予算
レコードを削除する]
の実行

削除された予算

オーストラリア
サービス予算 v1

フォローをお願いします。



www.sap.com/contactsap

© 2022 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、関連プレゼンテーション、および SAP SE またはその関連会社の方針および予定されている将来の開発、製品、またはプラットフォームの方向性および機能は、すべて変更される可能性があり、SAP SE またはその関連会社は随時、理由の如何を問わずに事前の予告なく変更できるものとします。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する情報および表示の詳細については、www.sap.com/trademark をご覧ください。